

# 川根本町 図書室だより

8月  
2023年8月号

- ・文化会館図書室(小長井)
- ・山村開発センター図書室(上長尾)
- ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース  
TEL:0547-59-3106(文化会館)  
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時~午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(20日)・祝日の翌日(12日)
- ☆ やまびこ号巡回コースは



かわねフォン、町のホームページでご確認いただけます。  
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

## 新 着 図 書

### 『マンガぼけ日和』

矢部太郎 著 長谷川嘉哉 原案 かんき出版

#### 誰もが避けられない道。

文



認知症の進行具合を、春・夏・秋・冬の4段階に分けて、そのとき何が起るのか?どうすれば良いのか?を多数の患者さんのエピソードを交えて描いた、心温まるエッセイ。知っていれば、だいたいことは何とかなるもんです。認知症専門医が教える、ボケ方上手と介護上手。

### 『瞬時に「言語化できる人」が、うまいく。』

荒木俊哉 SBクリエイティブ

#### 必要な言葉が、「瞬時に」出てくる。

山



「思いをうまく言葉にできない...」と悩むビジネスパーソンに向けて、「言語化力」を鍛えるメソッドを伝えるものです。そのメソッドとは、「頭に思いついたこと」をA4一枚の「メモ」に次々と書いていくだけの非常にシンプルなたレーニング。

### 『全国SA・PA道の駅ガイド [2023]』

昭文社 (昭文社ムック)

#### せっかく走るなら立ち寄りたい!

文

「SAPA」と「道の駅」。旅行・ドライブに欠かせないこの2つを、日本全国からギュギュッと集めて1冊で紹介!「目的地にだけ行く旅なんて、つまらない!クルマ旅は「途中をいかに楽しむか」で何倍も面白くなります。その途中を楽しませる代表が「SAPA」と「道の駅」です。



### 『大きなパンダと小さなドラゴン』

ジェームズ・ノーブリー著 せきねみつひろ訳 サンマーク出版

#### あなたをそっと勇気づける物語。

山

とても可愛いパンダと小さいドラゴンが連れ立って旅に出るお話です。胸のつかえがずっと消えるような。少し笑えるような。子どもの頃を思い出すような。ピリッ!!とした言葉が、ちりばめられています。



入荷!

文化会館図書室

山村開発センター図書室

課題図書



ほか  
全15冊

※所蔵状況 文 文化会館図書室 山 山村開発センター図書室

裏面へ続く

## ◎ 新着図書



川根本町  
インターネット  
図書室  
ホームページ



図書だより  
バックナンバー

新刊の詳しい情報は、【川根本町図書ネット】で検索。  
または、右記QRコードよりご確認ください。

文化会館図書室所蔵	山村開発センター図書室所蔵
<p>●『<b>コメンテーター</b>』 奥田英朗 著 文藝春秋 低視聴率にあえぐワイドショーのスタッフの圭介は、母校のついで美人精神科医をコメンテーターとしてスカウトしようとする。が、行き違いから伊良部とマユミが出演することに。案の定、ふたりは放送事故寸前のコメントを連発するが、それは暴言か、はたまた金言か！？</p>	<p>●『<b>焼け野の雉</b>』 梶よう子 著 朝日新聞出版 行方知れずとなった夫・羽吉と離縁し、飼鳥屋を営む女主人のおけい。九官鳥の月丸との二人暮らしでお店も順調なある日、おけいの暮らす一帯が大火に見舞われる。何とか逃げのび、「お救い小屋」で暮らし始めたおけいだが.....。</p>
<p>●『<b>サクラの守る街</b>』 朝倉宏景 著 講談社 6年前、3億円盗難事件を引き起こし、信用が失墜したサクラ警備保障株式会社。佐久良社長は経営立て直しの中過労で亡くなり、現在は息子の光輝と基輝が跡を継いでいる。父は何を守ろうとしていたのだろうか。そして、俺は何を守ればいいのか。</p>	<p>●『<b>極楽征夷大將軍</b>』 垣根涼介 著 文藝春秋 動乱前夜、北条家の独裁政権が続いて、鎌倉幕府の信用は地に墜ちていた。足利直義は、怠惰な兄・尊氏を常に励まし、幕府の肅清から足利家を守ろうとする。やがて後醍醐天皇から北条家討伐の勅命が下り、一族を挙げて反旗を翻した。</p>
<p>●『<b>ヨモツイクサ</b>』 知念実希人 著 双葉社 「黄泉の森には絶対に入ってはならない」 人なのか、ヒグマなのか、禁域の森には未知なる生物がいる。究極の遺伝子を持ち、生命を喰い尽くすその名は――ヨモツイクサ。その禁域を大手ホテル会社が開発しようとするのだが、作業員が行方不明になってしまう。</p>	<p>●『<b>おやごころ</b>』 島中恵 著 文藝春秋 妻のお和歌が子を宿した、町名主の跡取り息子・麻之助。生まれてくる子の名を考えつつ、今日も町の揉め事に立ち向かう!「まんまこと」シリーズ第9弾。 『オール讀物』掲載を書籍化。</p>
<p>●『<b>トランパー</b>』 今野敏 著 徳間書店 大量の商品を注文して代金を支払わない「取り込み詐欺」に管内の暴力団・伊知田組が関与しているらしいが、確証がないという。諸橋は県警本部と合同で張り込みを開始するが、ガサ入れは空振りに終わった。 誰かが情報を洩らしたのか!?</p>	<p>●『<b>絵師金蔵赤色浄土</b>』 藤原緋沙子 著 祥伝社 幕末の動乱で、様々な思想と身分の差から生じる軋轢は人々の命を奪っていった。金蔵は類まれなる絵の才能を認められ国元絵師となる。人々に「絵金」と親しまれながらも、冤罪による投獄、弟子の切腹、そして、土佐を襲う大地震.....。絵金が辿り着いた平和を願う究極の表現とは――。</p>
<p>●『<b>しまさんとこねこねハンバーグ</b>』 タサン志麻 文 くさばよしみ 文 からはしい 絵 河出書房新社 タサン志麻さん初めての料理絵本。志麻さんと可愛いキャラクターのキキとココが、ジューシーなハンバーグ作りに挑戦!</p>	<p>●『<b>おちゃのえほん</b>』 まる 作 マイルスタッフ お茶の産地静岡岡。ちょっとした豆知識と、子どもが自分ひとりでお茶を淹れるまでのほっこりかわいいタッチと、かわいい物語で、いままでにないお茶の絵本。</p>



## 『「お金が貯まる人」の習慣、ぜんぶ集めました。』

そんな秘密があったのか!

ホームライフ取材班[編] 青春出版社



山村開発センター図書室所蔵

編者のホームライフ取材班は、「暮らしをもっと楽しく!もっと便利に!」をモットーに日々取材を重ねているエキスパート集団で、その取材力、情報網の広さには定評があるそうです。その取材力で得たデータは、なるほど〜と唸るものばかり。

時々宝くじを買っていましたが、当選する確率は隕石に直撃されて死ぬより低いとか。トイレトペーパーはダブルを買っていますが、シングルの方が断然お得なんだそう。トイレがピカピカな家の世帯年収は平均542万円、きれいでない家だと平均454万円で90万円近くの差があるとは!早起きすると三文の得どころか100万円も年収がアップする!というデータも...

この「お金が貯まる人」の107の習慣、やらない手はありません。私もスーパーの買い物は、楽だからつい買い過ぎてしまうカートは使わず、カゴを手につつところから始めようと思います。 図書室スタッフH